

草津市子ども読書活動推進計画・草津市の図書館運営計画（現計画）と市民アンケート調査から得られた本市の読書の課題

読書のまち実現に向けた方向性

(仮称) 草津市読書のまち推進計画 施策体系（案）

【課題①】全世代への読書推進

- 1) 読書が好きになったきっかけとして、「家に本があったから」と回答した人が小中学生においては約50%、16歳以上においても3人に1人の割合となっています。また、反対に読書が好きでない理由として「家で本を読む習慣がなかった」と回答した人も多いため、家庭にいつも本がある環境を作り子どもの読書習慣を育てることが必要です。【資料1-①】
- 2) 就学期が上がるにつれて不読率は上昇している傾向にあり、特に**中学生以降の不読率については、小学生の約5倍となっています。**生徒が本に興味を持ち自主的な読書活動を行うために、授業での学校図書館の活用や公共図書館と高校との連携など利用促進を図る必要があります。【資料1-②、⑥、草津市子ども読書活動推進計画課題】
- 3) 読書をする理由として、**全年齢を通して「趣味のため」が多い中、30歳～64歳においては「勉強のため」「仕事のため」、65歳以上については「情報収集のため」「脳の活性化のため」が特化して多くなることから、成人期や高齢期に適した読書活動を推進するほか、リカレント教育に役立つ資料収集やサービスを行う必要があります。**【資料1-③】

【課題②】市域全体での読書環境

- 1) 市民の読書活動の基盤として、図書館は重要な役割を担っています。しかしながら、**利便性に対する課題や情報不足**から、公共図書館や移動図書館を利用したことがない人も多く、図書館機能の周知など利用促進に努める必要があります。また、デジタル社会に対応した読書環境の整備を検討していく必要があります。【資料1-④、⑤、草津市の図書館運営計画課題】
- 2) 学校図書館は、子どもにとっては学校という身近な場所にありながら、**中学生になると半数以上の生徒が「年に数回」「利用しない」と回答**しています。中学生になると不読率が上昇する傾向もみられることから、学校段階が上がっても子どもたちが読書習慣を継続していけるよう、学校図書館や授業において生徒が興味を持てる本の設置や紹介など、図書環境の整備・充実を図る必要があります。【資料1-⑥】
- 3) 本市の図書館は市の中心部に2館位置しているため、**郊外からはアクセスしづらい状況**となっています。読書を楽しめる場を増やすことが求められていることから、市内のどこでも気軽に読書活動を楽しむことができる場や機会を設ける必要があります。【資料1-④】
- 4) 年齢別に読書をしなかった理由を見ると、「**文字が小さくて読みづらい**」と回答した割合が40%であるなど、**誰もが読書に楽しめるよう、読書環境の整備や図書館への来館が困難な市民に対し、利用を容易にするなど、読書バリアフリーを推進**していく必要があります。【資料1-⑦】

【課題③】機会の創出

- 1) **市民の多様な読書ニーズに対応し、あらゆる本と出会う機会を創出**するため、市内関係施設と連携した図書の展示や、大学図書館や県内図書館との連携を強化していく必要があります。【草津市の図書館運営計画課題】
- 2) 今後の読書活動の推進のために大切であることとして、「**身近な地域で本がある環境づくり**」が求められています。**市内の施設だけではなく団体とも連携**することで、いつでもどこでも本に触れることのできる機会を作る必要があります。【資料1-⑧、⑨】
- 3) 市域全体に読書活動を推進していくためには、**読書ボランティアの育成に取り組み、連携・協力しながら取り組んでいく**必要があります。また、読書ボランティアや読書活動団体の交流や活動を支援し、継続的に活躍できる環境づくりを推進していくことが重要です。【草津市子ども読書活動推進計画課題】
- 4) 読書をする動機づけについて、**小中学生では、「読書に関する情報が伝わってくる」と回答した割合が3人に1人**となっています。読書の意義の啓発や各世代に合った読書情報の発信等により、読書への関心と意欲を高める必要があります。【資料1-⑧】

- 1) 家庭で本や読書に親しめる環境づくり
- 2) 中学生および高校生の自主的な読書習慣の形成
- 3) 成人期・高齢期にあった読書習慣の醸成
- 1) 社会環境の変化に対応したデジタル化等の図書館サービスや利用者支援サービスの質の保持・充実および図書館の利用促進
- 2) 継続的な読書習慣形成のための学校図書館の充実
- 3) 市内全域で身近に本に親しめる環境づくり
- 4) 図書館利用や読書が難しい高齢者や障害者等に向けた読書バリアフリーの推進
- 1) 市民があらゆる本と出会う機会を創出するため、市内施設や関係機関等との連携の強化
- 2) 読書を身近に感じ、いつでも本に触れることのできる環境づくりのため、各地域や団体との連携
- 3) 市全体の読書活動の推進に向けて、読書ボランティアの育成や団体の活動支援
- 4) さまざまな媒体による、世代別の読書啓発や情報発信の推進

基本方針	施策の基本方向・対象	基本施策
【基本方針1】 乳幼児から高齢者までの全ての世代に対応した読書活動の推進	1) 未就学児における読書活動の推進	①家庭における読書活動の推進 ②就学前教育・保育施設等における読書活動の推進
	2) 小・中学生および高校生における読書活動の推進	①小・中学生および高校生における読書習慣の定着の促進 ②学校図書館の活用の促進
	3) 成人期における読書活動の推進	①成人期における読書活動の推進
	4) 高齢期における読書活動の推進	①高齢者誰もが読書に親しむことのできるサービスの展開
【基本方針2】 市域全体での読書環境の整備	1) 図書館運営・機能の充実	①地域の情報拠点としての図書館機能の強化 ②利用者支援サービスの充実
	2) 学校・保育施設等の図書環境の充実	①就学前施設における図書環境の整備・充実 ②学校図書館における図書環境の整備・充実
	3) 地域における読書環境の充実	①地域における読書環境の充実
	4) 高齢者・障害者・多文化向けサービスの展開	①誰もが読書に親しむことのできる環境の整備
【基本方針3】 身近に読書を楽しむ機会の創出	1) 関係機関等との連携	①関係機関や高等教育機関等との連携による機会の創出
	2) 地域との連携	①地域の拠点施設との連携による機会の創出 ②地域団体との連携による機会の創出
	3) 読書ボランティア等の育成・支援	①読書ボランティアの育成・支援 ②読書ボランティアとの連携
	4) 効果的な情報発信	①読書情報等の発信 ②読書活動の周知・啓発